



商工中金の危機対応業務への取組みについて

商工中金は、中小企業、中堅企業等向け危機対応業務に取り組んでいます。

危機対応業務に係る「特別相談窓口」を全国の営業店に設置し、危機時における法定の指定金融機関として、お客さまからの相談に対応しています。

今般、危機対応業務全体の実績は、3月末日現在、253,174件、14兆5,935億円となり、新型コロナウイルス感染症関連の実績は、32,566件、2兆2,334億円となりました。なお、危機対応業務の取組みに際しては、制度要件の適合性を確保するため、全ての融資案件を本部協議としています。

<危機対応業務の取組実績～2021年3月末日現在>

	危機対応業務全体の実績 (※注) (2008年10月 ～2021年3月末)	危機対応業務のうち 平成28年熊本地震関連 の実績(2016年4月15 日～2021年3月末)	危機対応業務のうち 新型コロナウイルス関連 の実績(2020年3月19 日～2021年3月末)
中小企業等向け	13兆8,099億円 (250,198件)	456億円 (972件)	2兆1,965億円 (32,509件)
中堅企業等向け	7,836億円 (2,976件)	5億円 (1件)	368億円 (57件)
合計	14兆5,935億円 (253,174件)	461億円 (973件)	2兆2,334億円 (32,566件)

※注 上記のうち、損害担保契約が付されている貸出(申込予定を含む)の実績は以下の通りです。

中小企業等向け危機対応業務貸出	243,573件	13兆1,438億円
中堅企業等向け危機対応業務貸出	1,673件	2,767億円

商工中金は、「セーフティネット機能の発揮」を最優先で取り組むべき課題であると認識し、これまで以上に中小・中堅企業等の相談に対して懇切・丁寧かつ迅速な対応に努めてまいります。